

企業・行政・地域は デジタルトランス フォーメーション(DX)で どう変わるか？



**入場
無料**

日時

2024年
2月23日(金・祝)
14:00~17:30

会場

大分大学経済学部401号教室

※ 定員は**100名**までです。

第1講演

顧客本位のDXの実践

黒木 昭博(くろき あきひろ)(日本アイ・ビー・エム株式会社 IBM Garage シニア マネージング コンサルタント)
2020年 デジタルを使って企業変革を伴走するIBM Garageに参画。DXビジョン、顧客体験、ビジネスモデル立案等を通じて人や組織を変え、価値を実装するためのプロジェクトを多数手掛ける。主な著書『0から1をつくる まだないビジネスモデルの描き方』(日経BP社、2016年共著)。修士(経営学)。

第2講演

デジタル田園都市国家構想と自治体DXに必要な視点

若生 幸也(わかお たつや)(株式会社日本政策総研 理事長・取締役)
2006年金沢大学法学部卒業、2008年東北大学公共政策大学院修了、同年富士通総研入社。2011 ~ 2013年に北海道大学公共政策大学院専任講師(出向)、2022年日本政策総研入社。2023年4月より同理事長・取締役。東京大学先端科学技術研究センター客員上級研究員を兼務。主な著書に『自治体経営リスクと政策再生』(東洋経済新報社、2017年共著)。TBS「ひるおび」などでコメンテーターとして活躍。専門は地域政策・自治体経営・規制改革・政策評価。

第3講演

日本のスマートシティ政策と地域格差

眞田 貴絵(さなだ きえ)(立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部助教)
2017年フンボルト大学ベルリン アジア・アフリカ研究所 論文博士。チュービンゲン大学社会学部臨時講師、ストックホルム商科大学 欧州日本研究所研究員を経て、2023年4月より立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部助教。主な著書論文に Smart cities in Japan and the EU: In search of structural focal points in respective policy development : TRAMES 27 (3) (2023年)。専門は社会学、日本学、地域間格差、地域政策、まちづくり論等。

意見交換

コーディネーター 甲斐 智大(大分大学経済学部准教授)

